

日本大学 生物資源科学部 食品ビジネス学科 坂田 基晴さん

日本大学 生物資源科学部 食品ビジネス学科 鈴木 航平さん

「もてぎ放牧黒毛和牛」のブランド力強化

－もてぎモデルの構築へ向けて－

本研究では、栃木県茂木町の地域特産品である「もてぎ放牧黒毛和牛」に着目し、経済力向上を視野に入れ、商品力、地域力向上を目的として、産官学連携によるブランド力強化を図った。

マーケティング戦略を実証する機会として社会実験イベントを踏まえ、現地において構築した新たな産業振興モデル「もてぎモデル」は、茂木町以外の市町村であっても適用することが可能であることが示唆された。私たち大学生がプロジェクト研究に主体的に関わることで、従来関係のなかった生産者や企業や行政が新たに繋がるができています。社会実験の結果、次の四点が明らかになった。

第 1 に、地域が一体となった「新たな産業振興モデル」の実証によって、地域内に多様な波及効果をもたらすことができる。第 2 に、地域内の複数の事業関係者と関わることで、地域独自のブランド商品を創り出し、経済力の向上が期待できる。第 3 に、商品力・地域力は、地域外の大学生が主体的にアプローチすることで向上した。第 4 に、余りやすい部位でも、商品力・地域力を活かしたマーケティング実証によって、地域ブランドの価値拡大に貢献することが明らかになった。

